

この子らと

令和6年8月号

命輝く子ども



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

乳幼児の熱中症対策を!!

- 乳幼児は、体温調節が未発達のために、高温多湿の環境に長時間いると熱中症を発症するリスクが高くなります。
- 乳幼児は、大人よりも身長が低いために、アスファルトなどからの太陽光の反射の影響が大きくなります。
- 猛暑日(35℃以上)の日中での外出は、極力避ける。



大人とベビーカーに乗った赤ちゃんとの温度差にご注意を!

気温「36度の場合」

ベビーカーのハンドルの高さの温度40.8℃
ベビーカーの座シートの高さの温度59.8℃
地面の温度62.5℃

熱中症予防のために

※ WBGT 値「気温・湿度・放射熱から算出される暑さの指数を参考にしてください。【インターネットで暑さ指数鹿児島市で毎日、発表されます。】

暑さ指数(WBGT)

- 31以上【危険】 外出はなるべく避ける。
- 28以上31未満【嚴重警戒】外出は炎天下を避ける。
- 25以上28未満【警戒】定期的に十分に休息をとる。
- 25未満【注意】 危険性は低い。

熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむらげえし、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感
- 重症になると返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い



叱る代わりに一緒に遊ぼう

□ 5年生で初めての男性担任、はじめは、とても怖い先生でした。当時の仲間とは、メンコで良く遊びました。ただ、学校には、もってきてはいけないことになっていました。

ところがある日、こっそりと持って行って、放課後に人がいなくなってから遊ぼうと考えたことがありました。授業が終わってみんなが帰っていきました。

先生も教室を出られました。ついにいつもの遊び仲間だけが教室に残り、いよいよメンコを床に広げて遊び始めました。

すると教室の扉が急に開いて先生がたっっておられたのです。体が凍りつきました。

クラスの決まりを破った私たちは、思い切り叱られることを覚悟しました。

先生は口を開きました。「僕にもやらせろ。」と。驚きました。先生を交えて4人でメンコを床に打ち付け合い、遊び続けました。

しばらく遊んでから、最後に「これで終わりにしよう。もう、やるな。」先生は、私たちが叱りつけることなく教室を出ていかれました。子どもながらに先生を裏切れないと思いました。私たちは二度とメンコはやりませんでした。(国分寺市松井敏夫)



心のふるさとづくりを

“ふるさは、自分を理解してくれる場所である。”
“気を許せる仲間やふるさどがあるからこそ、最大限頑張ることができる。”

やがて、故郷を離れていく子どもたちです。子どもたちに「心のふるさと」を形成するために、本園では、七夕、夏祭り、お泊り保育、プール遊び等、さて、ご家庭では、ラジオ体操、地域での夏祭り、花火大会、野山、海遊び・等”でしょうか。子どもの心に今の季節ならではのふるさとづくりを”

